



第57回「おかねの作文」コンクール

特選 金融担当大臣賞

「祖母の夢」から始まるストーリー

茨城県・茨城県立土浦第一高等学校附属中学校 1年 飯原 愛理

私には大好きな祖母がいる。彼女の長年の夢は、フランスを訪れることだ。おいしいフランス料理やショッピングが目的ではない。「ルーブル美術館」に行きたいのだ。

私が小学1年生の頃、母が祖母に尋ねた。「ねえ、思い切って行ってみる？ ルーブル美術館を回るツアーに申し込んであげるわよ。」

すると祖母は言った。「私はね、あなたと愛理と三人で一緒に行きたいのよ。愛理が大人になるまで待つわ。」その話を聞いた私は考えた。(もしばあちゃんの旅行のお金を私がプレゼントしたら、ばあちゃんびっくりするかな。)母に相談してみると「それは素敵ね！」とほめてくれつつ、フランスに行くには何十万円というお金が必要で、その金額を貯めるのはとても大変だということを教えてくれた。「お金が貯まるまで、きっと長い時間が掛かるわよ。頑張れる？」と聞かれた私は、少しひるみながらも「頑張る！」と宣言。その日から、私の「ばあちゃんの夢応援大作戦」がスタートした。

当初の私の全財産は、母に預けたお年玉など約2万円。「大作戦」開始以降は、毎年のお年玉と月々のお小遣いから数百円を貯金するようになった。5年以上が経過し、少しずつ貯まってはきたものの、フランス旅行の金額に達するまでにはまだまだ時間が掛かる。祖母の旅行目標時期は「私が大人になったら」のはずだから、残り時間は早くてあと5年。このままでは到底間に合いそうにない。

私は中学生として初めて迎えたこの夏休みに、お金を一気に増やす方法を思い付いた。「家庭内アルバイト」である。母に相談すると「面白いわね！」と大賛成。早速、さまざまな仕事に見合うアルバイト代を決めてくれた。食器洗い50円、洗濯は100円。風呂とトイレ掃除は結構大変なので、200円と高値が設定された。トイレは二つあるので、これらのお手伝いを全てこなすと、1日

750円以上も稼げる。夏休みは40日あるので、毎日頑張ればなんと3万円ほどになる。ありがたいことに母から、「夏休み中1日も欠かさず頑張り切れれば、1万円のボーナスを支給するわよ！」という、まるで「馬の鼻先に人参」のような言葉までもらい、大いに張り切っているところだ。どの仕事も学校が始まってからもできるお手伝いばかりなので、ずっと続けていこうと思っている。夏休み後のボーナスについては、母との交渉を頑張るつもりだ。

私が今後もコツコツと家庭内アルバイトを続けることができれば、もしかしたら「女三人フランス旅」の旅費を全てまかなえる金額を貯めることができるかもしれない。母には内緒で、「大作戦」を超える「大大作戦」に切り替えることにした。お母さん、びっくりするだろうな。そんなことを考えていたら、自分でも驚くほど幸せな気持ちでいっぱいになった。いつの間にか、祖母の夢をかなえることは、私自身の大きな目標となっていたのだ。お金を「使う」のではなく「貯める」ことで得られる幸福があるのだということを知り、とてもうれしく思っている。

祖母と母からはフランス旅での現地ガイド役を頼まれているので、日々の英語の勉強にも力が入る。もし私がフランス語も話せるようになったら、きっとすごく楽しい旅になるだろうな。大学生になったらフランス語も学んでみようかな。祖母の夢をきっかけに、私の興味はどんどん広がっていく。

「女三人フランス旅」の旅費を、私が用意する。壮大なこの「大大作戦」計画成功を目指して、これからもアルバイトに勉強にと、メリハリのある毎日を楽しみながら過ごしていきたいと思っている。

さあ、今日も元気いっぱい、頑張るぞ！